

冬枯れの静寂の尾根道

# 金剛山く宝峰

実施日 二〇〇八年二月二十四日(日)

天候 快晴

リーダー 馬場 清士

参加者 上野キヨ、若村貴世子、斎恵美子、渡辺清、佐藤金治、

服部美千代、一柳昭、山口駿三、岩井康子、涌井良

明、大村巖、島本陳重、山崎富美恵、鈴木恵美子、

小村井好枝、荻野智恵子(ゲスト)

会員 十六名 ゲスト一名 計十七名

費用 交通費 約1,900円(新宿起算)

コースタイム 藤野駅(十時二〇分)〜十時三〇分)金剛山登山口(十時

五〇分)金剛山(十一時 四〇分)〜十二時一〇分)鉢岡山

(十二時五〇分)〜十三時)宝峰(十三時四五分)〜十四時)藤

野駅(十五時一五分)



天気快晴のなか十七名の大所帯が藤野駅に降り  
それぞれに身体を動かし、出発  
の準備をして歩き始めた。車道  
を暫く行き、相模湖に架かる日  
連大橋を渡るが、かなり風が強  
く冷たい。空は真っ青、湖は緑、

落葉の山里が美しく映える。金剛山の登山口から



北斜面を登りだすと、所々に二月上旬に降った雪  
が残っている。頂上直下五、六〇m位か、かなり  
の急登に雪が付いており、慎重に歩を進めた。山  
頂は小広い草付きで、金剛神社  
が祀られており、ここで昼食を  
摂った。鉢岡山へは一旦尾根道

を降り農道に出て登り返す。笹原の道を登ると鉢

岡山だ。戦国時代は要害の地と

して、警鐘やのろしを上げた所

らしいが、今は電波塔等が建ち

当事の面影は無い。来た道を引き返し宝峰に向か

う。雑木の自然林の尾根道は葉を落とし、左に相

模湖、中央高速、右に道志の山並み、その奥に丹

沢を望みながら宝峰を目指す。宝峰の山頂は数坪

で、立ち木に小さく「宝峰」と書いた板切れが縛り付けてあった。

宝峰から急な道を下り、林の中を暫く行くと県道に出て、朝渡つ

た日連大橋に出た。冬晴れのなか静かな尾根歩

きを楽しんだ一日でした。参加された皆さんお

疲れさまでした。また一緒にしましょう。

(記・馬場 清士)

